



室川威を以て
此中
御事

此中
御事

此中
御事

此中
御事

此中
御事

此中
御事

此中
御事

○目今海軍省調度課雇月給拾貳四ナリ
○官舎住居無税ナリ

方今這ノ物價騰貴尙方日今ノ降ナリ
ハ活計困難ナリ以て退任申辭シテ
御里志晴陽ニ赴キ何か他ノ事
業ヲ営ミ生計ヲ謀ラント思惟
セリ

此事早クモ河村殿ニ前ハ假令海
軍ヲ辭スルモ其方向リ違ハルハ
貴府下ニ在ルモ可ナク己若ク右
ニ付不都合件モアラハ其次第ニ因
リ或ハ助ケニ其報ズル所ハ私御
ノ御答志共他室内ノ西掃ノ装
飾ホコトハ治事スマシク

故に目今ノ處ニテハ先ツ海軍省
ニ雇ヒシ御事ノクニ居ル姿ナ

此ノ如キ形状故辭スルニハ敢テ難
ニ非ズト信ズ

御事ノ御事



之雇之怒事、夕之居ハ姿ナ

山ノ如キ形状故辞スニハ敢ラ難
ニ非ズト信ズ

○ 秘於事ノ様也

昨年来其為人モ畧知リ且難子
格 尊主人ノ有之モハ満之
云ニハ端モ有之モ方先般中大
藏省ハ何トカイタシ墨十度ト存
其但自分モ心配存儀公ノ

言慮モト為立ル交双方ノ御令
ヨリ好路業ヲ中納今日ニ至
リテハ一日頼ニ度ト存シテモ自
由ヲ不得 畢ニ之 吾儀公ホテ
は御心志ハ多ク公事ニ屬

スルハ實際ヨリスルモノナレバ尋
常私事ヲ以テ目スルキツモモ
毎ニ心配イタシ候

今向ク處ヲ以テスレバ海軍ヲ去
ルハ左ホド難キニモナシトアハ
怕御云々ノ情ハ如何ナル安

用アルカ実ホスルニ目之シモ要用
アリテヨリスルトハ思ハズ只
生計上ノ都合ニモナラントノ趣意
ヨリ来々モノト思フ所也

其由ヨリ有之候

然ラバ給料ノ一点ニ若シ今
口他ニ雇ヒントスルモノナレバ其
由モ二ノ給料 最下ノ額ヲ
何ホドシ要スルヤ話ハ早キ

方ヨロシシ 伏藏ナク吐露スル
ラニテハ主ム

此向敷時漸ヤラニシテ

金持五回以内ニテハ困難

うにのりし 治主公

此向敷時漸ヤクニシテ

金指五回以内ニテハ困難

之ニ付今日月迄於五回官

宅係在以此家稅假リニ

カ十五乃至三四ト見後リ

則今會於五回位ニ至ル

ニ有之

然ラバ一ノ意見ヲ述ベシ熟慮有

名ノ推おハ治主公

想フニ之下ハ素ト外國人ニ屬

シテ目今民事ノ業ヲ習熟

シ得ル由當初多少ノ苦楚之ヲ受

ケ耐忍セシモノナラン以テ生計ヲ

計ルノ種子トセントノ思ハヨリ

今日之ヲ長トシテ世ヲ渡

ル世得ルニモ他ニ求ムハヨリハ

ハ多ク世事モ安ニシテ為

シ得ルト云フモノ

今各者ニテモ外國人ハ逐ニ減ズ

ル形狀海軍ノ如キ多少外國

人ヲ要スベキモ永ク^{官如キ}其人ヲ要

スルトモ思ヒズサリテ^{初メ}外國

人ニ雇ヒタルモノ一旦之ヲ安テ

官廳ノ雇トナシ再ビ外國人ニ

ハルニモ好マシカラザルマシ

固テおハクニ官内者ノ如キ内膳

アリ常ニ此御方衣御所陪合

其地各離宮相傳宴會ホ

是下ノ如キニ又用ノ人物ナラン

又是下ノ為メニ於テモ永ク世

業ヲ保チ安シズルモノナランカ

成否知ルハカウストイハ氏意

又豆下ノ為メニ於テモ永ク世
業ヲ保チ安シズルモノナラズカ
成否知レズヤトイハレ其意
如何

昨年来不男識ノ徳ニテ毎
交遊其萬ク度ケ且不肖ノモ
維子格回レハ我輩有テ学
實ニ疑有テ又只今ノ如キ
む企為スルニナリ

廿テ宮内ニ雇ルハ若シ決定セバ
内閣法公レ御存志有テ其
諸方証出テカノ及ブ其後ヲ注意
殊ニ維子格又河村船ノ如キハ
マテノ以恩義モアリ一段時
系即一家ノ事ト心得テ
注意候ハレ

一ノ敬系シカシ河村公ハ厚キ
片沙法モ有テ其辺ニ對シ不都
合甘ハモトシムルバ急務此事

今述ハシテハ只僕ノ三志ノニ此
上思案ホシテ其工凡ニ取掛ルハ
レ此工未レカレモ是下ノ心
底シテ知セザシバ為レシコト
一モアルニハ一志系リ文ルモ
故ハ先イッレモセ日時レ維
子格レ此レお事ノ一ハお
和メハ祝アリタレ免有レ人
ハ免強ニテ又法人重教
肝心ナリト思フ

其孫ノ意是レニナシ
以勤弁レハ玉女也

和メウ祝アリタシ免御人
ハ免御ニテ又法人堂敷
肝心ナリト思フ

有様ノ意是ニシテ
ハ勤弁トシ玉女御也
ト云ハ^{物セシ}海ノ波ナリ
ハ均ハ定ニシ後初ト云
伝ル月終リ十七日迄
ハ一ハ^ハ所免御甘
ヨリ多カラズ十五ヨリ少
十カラズト申ヌ要ト云
カカノ如キ始終ヨリ
ニハハ人ト又今ト比
テ致ニ余子ノ給ニハ
先併永ク有勤海ニ
ハハハ所分親柱ト云
カカノハハ御存七人ノ
内ハハハハハハハハ
村ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハ

謹拜也

右限ニテ後様

此ハ